

第17回 地方議員特別セミナーin 敦賀 他 報告書

日 時：令和元年 11 月 12 日（火）～13 日（水）

場 所：（1）第17回 地方議員特別セミナーin 敦賀

敦賀駅オルパーク 2 階

（2）託児所たんぼぼ

公益社団法人敦賀市シルバー人材センター

（3）人道の港 敦賀ムゼウム

内容目的：①議会改革と予算修正案のつくり方

・議会改革ランキング全国4位の取組み！ 岩倉市議 大野慎治氏

・議員必須！予算修正案のつくり方 生駒市議 塩見牧子氏

先進地事例を参考にする。

② 託児所の運営を学ぶ。

③ 敦賀市の歴史から黒部市の歴史の見方を学ぶ

視察者及び報告者：成川正幸

内容

（1）17回 地方議員特別セミナーin 敦賀

※スケジュール

13:30～13:40 主催者あいさつ

13:40～14:20 議会改革ランキング全国4位の岩倉市議会の取組み

講師：大野慎治氏 愛知県岩倉市議会議員

14:20～14:40 休憩

14:40～16:50 議員必須！予算修正案のつくり方

講師：塩見牧子氏 奈良県生駒市議会議員

（i）議会改革ランキング全国4位の岩倉市議会の取組み

・議会改革度調査 2018 ランキング

総合4位（情報共有9位、住民参加1位、機能強化20位）

・平成23年3月定例会において、全員賛成で「議会基本条例」が可決成立。

「議会改革特別委員会」「議会基本条例推進協議会」として議員全員の15名で構成。

・3月と9月の定例会後に議会報告会を実施していたが、参加者が固定化、減少し、平成28年11月に実施した議会報告会では参加者が1名になってしまった。その後の1年間は開催を見送った。住民からは「決まったことの報告は意味がない」「説明は賛否が分かれた議案のみに」「行政課題を議論すれば」などの意見が出され、内容を検討。結果、3月定例会前に議会報告会を実施し、住民の声を予算審議に反映させるようにした。

- ・報告会の告知を掲示板 28 行政区 101 か所、回覧板 12 行政区 882 班、中日新聞県内版、MOVE-IT（中日新聞折込）

政策課題テーマ（デマンド型乗り合いタクシー、名鉄石仏駅東口の改札設置、小中学校のエアコン設置、待機児童対策、在宅医療・介護連携事業、公共施設再配置計画）

「若者とのおむすびトーク」「外国人ママとのおだんごトーク」なども開催。

- ・「議会サポーター制度」で市民との連携を目指す。
- ・行政視察の成果やふれあいトークにおける市民の意見について、政策型質問を実施するため、委員会代表質問を制度化。
- ・議会基本条例を年 1 回検証。
- ・議会事務局長の人事評価を正副議長が実施している。
- ・議会傍聴者の写真撮影・録音を許可。
- ・議会主催の講演会を実施。
- ・議場防災訓練を実施。
- ・普通救命講習を実施。

（ii）自治体議会での予算修正

とりあえず賛成反対は、市民の利益になっているのか？

「とりあえず」賛成、反対から「納得」の賛成にするため予算修正を行う。

組替え動議と予算修正について、取り扱われ方や提出のタイミング、作成の仕方を学んだ後、実際に予算修正説明書のつくり方を演習シートを使用して実施した。

（2）託児所タンポポ

シルバー人材センターが託児所を運営している。

シルバー人材センターの入会条件は、①敦賀市内在住であること。②60歳以上であること③健康で働く意欲があること。

その会員の中から、保育免許保持者を中心に子どもを預かっている。

開所日 月～金（ただし年末年始12月29日～1月3日を除く）土・日・祝日は完全予約制。利用時間8：30～17：30、対象年齢は、首が座る、生まれて4カ月～小学校低学年

持ち物 は、着替え、おむつ、飲み物、お弁当など必要に応じてご持参。特にアレルギーがあると大変なのでお昼はお弁当にしている。

子ども1～2人にスタッフ1人を配置しており、視察時は子ども10人に5人を配置。

4月、5月、6月は保育園に入るので利用者は少なくなるが、9月から3月は、引越してきた人など、保育園に入れない子どもでいっぱいになる。就労実績が無いと入れないため、保育園に入園するためには、3月までに仕事を探して、4月から保育園という流れ。

元気がないなど、いつもと違ったり、抱っこしたら熱いと熱を測る。その時は、引き取りに来てもらう。

ベッド3つしかないので、4人以上になると琉球たたみを敷いて寝かせている。ベッドも欲しいが、以前あった補助も無くなり買えない。今はもらい物で対応している。

1時間700円、2人目からは県の制度で割引になり、350円。3人目からは無料となる。現在定員10人。

保育園が無料になった分が 全額負担700円になった。

平日は保育園でも日曜日に預かって8時半から17時半、1日8時間。9時間目からは700円実費でもらっている。

多くの人に働く場を提供するため、センターの制度として月20時間しか働けないので、1週間に1回ずつ 日替わり16名で廻している。

定年延長で65歳の人が入ってこない。

収入は月5~6万円で、それだけでは生活していけない。

(3) 人道の港 敦賀ムゼウム

敦賀港は明治から昭和初期までヨーロッパとの交通の拠点として栄えた港。

1902年には、戦禍を逃れたポーランド人孤児375名が、1941年には世界大戦でナチスから追われたユダヤ人たちがリトアニアから外務省の杉原千畝領事代理が命令に背いて「命のビザ」を手にして、敦賀に訪れた記念に建設した敦賀港にある施設。施設内には、6つのコーナーに分かれており、写真と文章などが展示されている。

2020年に新たな施設が建設予定となっている。

所感

特別セミナーでの岩倉市議会と予算修正案実務は、今回で2回目ということもあり、とても理解できました。

岩倉市議会の取り組みが市民目線で親しみやすいものとなっており、失敗から工夫を重ねてこられているのが凄く分かった。本市議会でももっと市民目線の取り組みが出来ることを学ばせていただきました。

予算修正案のつくり方では、こんなことも出来るということを実演で学べたことが良かった。特に今回は2回目の講座参加であったため、理解がより深まったと思います。

敦賀の研修は今まで何回も行っていますが、市内の施設を見ることはありませんでした。今回は、2つの施設を見させていただき、今までにない敦賀を見せていただきました。

「託児所タンポポ」は、シルバー人材センターで行っているということで、高齢者就労と子育ての両方に対応できる一石二鳥の取組みとして、とても参考になりました。

「人道の港 敦賀ムゼウム」は、敦賀市が2020年に新しく建設する施設であることから、

現在の施設展示がどのようなものなのか視察しました。資料が充実しており、今まで残っていることに興味しました。

写真



岩倉市議会の取組み



予算修正案のつくり方



託児所たんぽぽ①



託児所たんぽぽ②



託児所たんぽぽ③



人道の港 敦賀ムゼウム